

平群

Heguri

≡ 議会だより
10月臨時会・12月定例会

No.289

令和5年2月1日
発行:奈良県平群町議会

第6回臨時会(10月)・第7回定例会(12月)

議長挨拶	…P2
議決結果・質疑あれこれ	…P3～6
議員視察研修	…P7
町政を問う! 一般質問	…P8～13
町の話題	…P14



奈良県消防協会生駒南支部連合出初式

平群町総合スポーツセンターにて 令和5年1月13日

皆さまとともに

輝く平群を次世代へ



議長 山本 隆史

毘沙門天王の福德を、千里の空を駆け巡りお授けするご当地キャラクター「しぎとらくん」の活躍を後にして、これまでの努力が花開き、実り始めることを意味する癸卯（みづのとう）の年が明け、立春を迎えました。

皆さま方におかれましては、益々ご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

平素より議会活動に対してのご支援、ご協力を賜り、議員一同、心より感謝申し上げます。

私たちは令和元年5月1日より4年の任期で、定例議

会や臨時会で提案される様々な議案に対し、町民の皆さまの代表として活発な質疑・討論を行ってまいりましたが、その役目も残すところ3ヶ月となりました。

本町の最重要課題は財政難です。令和2年11月に奈良県より「重症警報」が発令されました。県の財政支援を受けながら、議会と行政が丸となつてこの難局を突破しなければ、輝く未来を想像することは容易ではありません。

また、「緑豊かで心豊かな子どもの歓声がきこえるまち」を将来像に掲げた、平群

町第5次総合計画が策定されてから10年が経過しようとしています。人口減少や少子高齢化の進行、情報通信技術の進展、大規模自然災害の発生、新型コロナウイルス大流行など、想定を上回る変化が生じ、これらの課題についても積極的に取り組まなければなりません。

本町は、このような社会情勢を踏まえ、より効率的で実効性のある町政運営の指針となる「平群町第6次総合計画」の策定段階に入っています。

厳しい財政状況で限られた予算ですが今一度、皆さまの深いご理解と厚いご協力を賜りながら、議会の権限を最大限に活用し、輝く平群を次世代へと繋げてまいる決意です。

結びに、町民の皆さまにとりまして素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

寒中お見舞い

申し上げます

議長 山本 隆史

副議長 岩崎 真滋

議員 長良 俊一

井戸 太郎

稲月 敏子

植田 いずみ

山口 昌亮

森田 勝

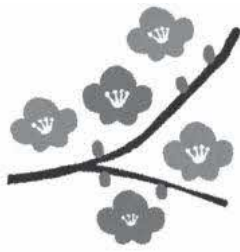
山田 仁樹

窪 和子

馬本 隆夫



第6回臨時会・第7回定例会 こんなことが決まりました



第6回臨時会が10月21日に開催され、一般会計補正予算、学校給食費特別会計補正予算が上程され、審議・採決しました。

第7回定例会は12月6日～16日まで11日間の会期で開かれました。

初日は、町長提出の18案件が上程され、審議し、採決しました。

一般質問は13・14日に行い、10名の議員が様々な町政課題について質問・提言しました。

最終日は、議員発議4件が上程され、審議し、採決しました。

議決結果賛否一覧

○賛成 ●反対 △退席（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	岩崎真滋	長良俊一	井戸太郎	稲月敏子	植田いずみ	山口昌亮	森田勝	山田仁樹	窪和子	馬本隆夫	山本隆史
(町長提出議案)	令和4年度平群町一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町学校給食費特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町長提出議案	職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町学校給食費特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和4年度平群町下水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町ふれあい交流センターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群野菊の里畜場の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公平委員会委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会委員の任命に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	監査委員の選任に同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	
議員提出議案	森田勝議員に議員辞職を勧告する決議(案)	否決	●	●	●	○	○	○	△	○	●	●	
	高齢者と家族が安心できる介護の実現を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	
	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第9期の介護保険制度改定に向け安心できる介護保険制度を求める意見書(案)	否決	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	

※議長は採決に加わりません

質疑あれこれ

第7回定例会に上程された
議案及び質疑を紹介します。

職員の定年等に関する条例等の一部改正

職員の定年引上げ等に伴う条例改正。主な改正内容は、①5年度から職員の定年年齢を現行の60歳から、2年に1歳ずつ段階的に引上げ、13年度以降は65歳となる。②役職定年制度の導入。管理職については原則60歳に到達後、管理職以外の職になる。③給与月額相当の間、職員が60歳に達した日以後の最初の4月1日以降、原則「7割水準」。また退職手当については当分の間、60歳に達した日以後、引上げられた定年退職日以前に退職した場合であっても、「定年退職」の支給率により算

定④定年前短時間勤務制度の導入。60歳に達した日以降、引上げられた定年前に退職した職員が、本人の希望により短時間勤務の職とすることができる。現行の再任用職員制度については、定年年齢の段階的な引上げ完了時の13年度末まで「暫定再任用職員」として残る。

主な質疑

質問 退職金の扱いはどうなるのか。

答弁 延長になった場合、60歳の年度末には支給されず、延長となつて退職するときに支給される。一番給料の高い60歳の給料月額を基本とし、60歳を過ぎてからの延長分が加算されるので、減額されることはない。

質問 定年延長に伴う町の負担はどうなるのか、また人事政策についてどう考えているのか。

答弁 延長した場合、保険、年金の加入に伴う町の負担が一定増える。また定年引上げ期間中においても、質の高い行政

サービスを安定的に提供するためには、新規採用職員を継続的に確保する必要があるため、財政状況を勘案しながら採用したいと考えている。

特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部改正

厳しい財政状況を鑑み、5年4月1日から8年3月31日までの3年間、非常勤の特別職の報酬を減じるものであり、減額率は月額報酬15%、日額報酬30%減額するもの。

主な質疑

質問 この減額条例は何年続いているのか。

答弁 平成17年4月からで、今年度で18年間になる。

質問 西和7町の実態はどうなっているのか。また平群町よりも安いところはあるのか。

答弁 額について各町それぞればらつきがある。減額については行われていない状況。平群町は近隣と比較して低額である

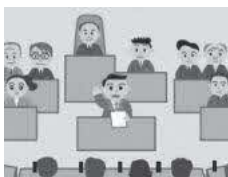
と言える。

反対討論

各種委員で頑張っていた皆さんの報酬を18年間も減額し続けるというのは、今後のまちづくりや町の発展にとってもよくないと考えます。減額についてはこの辺で終わらせたいのが、本来、町としてやるべきことだと思うので、そういう意味合いから反対する。

賛成討論

町は非常に厳しい財政状況であるが、本庁舎の建て替えなどの大きい事業が控えている。住民の皆さんにも一定のご理解をいただきたいという意味からも賛成する。



一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告による条例改正。一般職の月例給で初任給と若年

層の俸給月額引上げ、ボーナス0・1月分引上げ。再任用のボーナス0・05月分引上げるもの。

主な質疑

質問 この改正による増額は。

答弁 一般職の月例給75名分で65万円、賞与約170名分で653万5千円となる。また、再任用の方で16万5千円。

特別職の職員で非常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部改正

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

人事院勧告による条例改正。ボーナス0・05月分引上げるもの。

主な質疑

質問

各種委員の報酬を引き下げているにもかかわらず、この条例改正は常勤の特別職他で引上げするもの。これでは整合性がとれていないと考えるが。

答弁

各種委員の皆さん方には本当に低い金額で、ご苦勞願っていることに感謝している。財政が好転したら、近隣の状況を見ながら改善していきたい。その一方で、引上げに関しては、過去からの人事院勧告の慣例に基づいているということでご理解いただきたい。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

会計年度任用職員の給与について、人事院勧告による給与表改定の適用は翌年度4月1日施行とする規定を追加するもの。

令和4年度一般会計補正予算（第6号）

歳出で主なものは、職員給与の減額措置及び人事院勧告等に伴う人件費の調整、各施設における電気料金の高騰に伴う光熱

水費の増額を全体に行う。戸籍

住民基本台帳費でマイナンバー申請補助業務に係る会計年度任用職員の予算措置、社会福祉総務費で地方交付税措置額の確定に伴う国民健康保険会計繰出金の増額、福祉医療費で3年度福祉医療費助成金の精算に伴う償還金の増額、学童保育運営費、こども園費、教育総務費では事務局費と学校管理費それぞれで会計年度任用職員に係る報酬の増額、こども園費の物価高騰に伴う給食賄材料費の増額、事務局費で物価高騰に伴う私立幼稚園生活支援給付金の予算措置、大規模改造事業費では北小学校トイレ改修工事及び中学校長寿命化実施計画策定に係る委託料の予算措置、学校給食センター費で物価高騰に伴う学校給食費会計繰出金の増額を行うもの。

歳入で主なものは、国庫補助金・県補助金で、放課後児童健全育成事業費の増額。国庫補助金で平群北小学校トイレ改修工事に係る学校施設環境改善交付金、マイナンバー申請補助業務に係る国庫補助金の予算措置を行う。町債では小学校大規模改造事業債の予算措置を行い、歳出超過分については、財政調整基金繰入金の増額により収支の

均衡を図るもの。

その結果、8684万8千円を追加し、歳入歳出予算総額77億7573万2千円となる。

主な質疑

質問

小中学校のトイレの洋式化についての今後の見通しは。

答弁

今回の補正では、北小学校のトイレの改修が国の補助事業採択を受けることができ、来年度の夏休みに実施予定。現在60%の洋式化率が7割から8割になる見通し。中学校は北館2階のトイレ改修が残っており、現在、国庫補助申請中であり、採択され次第、対応したい。主に生徒が専ら使用するトイレの洋式化率が60%で、今後はもう少し増えていく見通し。

平群小学校は100%、南小学校は70%でほぼ終わっている。

質問

雨漏り等の老朽化が進行している中学校の大規模改造事業についての今後の予定について。

答弁

長寿命化に向けた基本計画策定に取りかかり、6カ月

程度かかる予定。その後、実際の改修に向けた設計や予算についても考えていくが、9カ月程度かかると考えているため、実際に工事にかかっているのは令和6年度以降になる見込み。

質問

ひどい雨漏りの応急処置をどう考えるか。

答弁

雨漏りについては待たなしのことといえるので、安全上危ないところも含めて、どうしても必要な修繕箇所は来年度以降に改修できればと考えている。

質問

中学校を長寿命化することで、どれくらい寿命が延びるのか。また町として、建て替えか長寿命化していくのか、どう検討したのか。

答弁

文科省の補助等で長寿命化計画を立てていく中で80年という数字があるため、あと30年使えるような耐用年数ということをやっていく考えを持っている。建て替えるとかかなりの費用がかかるので、既存の施設が使えるのであれば、できるだけ延命化したいと考える。

質問

マイナンバーカード申請の全国平均と平群町の交付率は。

答弁

11月末現在、全国平均53.9%、平群町53.9%。

質問

マイナンバーカードの交付率が地方交付税に影響することについて町としてどのように受け止めているか。

答弁

交付税算定の指標の一つとして用いる方向で検討することになっている。交付率を上げていく取組をしていくべきと考えている。



質問

光熱水費が全体で2900万円増額する補正予算となっているが、積算根拠について。

答弁

電気代の高騰が続いている中で、各施設で大体1.2倍上昇していることから、その分について予算計上している。

質問 財政当局からみた今年度の決算見込みは。

答弁 今回、6千万円弱の財政調整基金を取り崩している中で、例年通り不用額が2億円と想定した場合、実質収支は1億円程度の黒字、また実質単年度収支についてはギリギリ黒字になると見込んでいる。しかし、町財政は70%依存財源であり、交付税の動向が大きく影響されるため、今後、普通交付税の追加算定や特別交付税が減額の方になるということも聞いているため、あくまでも見込み額である。今後の国の状況を踏まえて、財政の執行に取り組んでみたい。

質問 町管理の防犯灯の電気代について増額の補正予算を上げるなら、自治会管理の防犯灯に対する補助金一灯70円に一定額プラスして補助すべきだと考えるが。

答弁 電気代の高騰で、自治会にも負担がより多くかかっているので、来年度に向けて前向きに検討したい。

令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳出では、医療給付費分で国保財政安定化支援事業分に係る地方交付税措置額の確定に伴う負担金の増額を行うもの。

歳入では、一般会計繰入金で地方交付税措置額の確定に伴う財政安定化支援事業繰入金の増額を行うもの。その結果、1378万円を追加し、歳入歳出予算総額24億9878万円となる。

令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳出では人事院勧告による人件費の減額及び電気料金の高騰に伴う光熱水費の増額を行い、歳入では他会計繰入金の減額を行うもの。その結果1万7千円を減額し、歳入歳出予算総額3395万円となる。

令和4年度学校給食費特別会計補正予算(第3号)

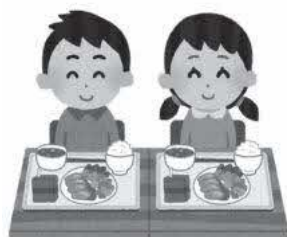
歳出では物価高騰の影響による学校給食費の食材賄材料費の増額(小学校300万円・中学校120万円)を行い、歳入で一般会計繰入金の増額を行うもの。その結果420万円を追加

し、歳入歳出予算総額6924万円となる。

主な質疑

質問 小中学校の給食費の値上げについて、現在のところどのように考えているのか。

答弁 物価高騰に伴う上昇分をどうするのかというのが大変だが、県内の状況を見ながら、できる限りの努力をして、値上げしない方向で考えている。何とか頑張つて、慎重に対応したい。



令和4年度水道事業会計補正予算(第1号)

水道事業収益の営業収益で新型コロナウイルス感染症対策に対する支援策として、全世帯の基本料金3カ月分免除に伴う減額2670万4千円、営業外収

益で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により他会計補助金で2670万4千円増額を行う。水道事業費用の営業費用の中では、給与カット及び人事院勧告、職員の育児休業取得、また会計年度任用職員の採用で総額254万2千円の減額を行うもの。

令和4年度下水道事業会計補正予算(第1号)

下水道事業収益の営業外収益で人事院勧告及び給与カット等に伴う他会計補助金の減額、営業費用では電気代の高騰による光熱水費の増額、人事院勧告及び給与カットによる減額を行い、特別損失で過年度損益修正損の増額を行うもの。また、資本的収入で他会計補助金の減額、資本的支出での減額を行うもの。

ふれあい交流センターの指定管理者の指定について

指定する団体…平群町社会福祉協議会(令和5年4月1日から4年間)



野菊の里斎場の指定管理者の指定について

指定する団体…平群町地域振興センター(令和5年4月1日から4年間)

主な質疑

質問 会葬者とのトラブルの防止という観点での教育について今後どうしていくのか。

答弁 指定管理者の提案の中で、住民サービス、利用者ファーストという形での教育をやっていくということなので、まずは見守っていききたい。町へ協力を求められた場合は教育の応援をしていく。

質問 指定管理において、施設によっては、固定式と精算式で整合性がとれていないことについて、今後は整理すべきだと考えるが。

答弁 整合性がとれていない部分があるので、今後はどういった形で整合性がとれていくのかということも踏まえて、調査、研究してまいりたい。

議員視察研修



令和4年10月20日（木）に全議員参加で御所市の水平社博物館へ視察研修を行ってまいりました。

水平社博物館は、人権情報発信基地としての役割を担い、あらゆる差別撤廃に向けた情報を発信する施設をめざされており、全国水平社のあゆみを軸に、歴史的資料だけでなく「鬼滅の刃」「ワンピース」で人権に関する場面のページや音楽の歌詞を用いた資料を展示され、身近なところから人権を意識できるように工夫されていました。

館内ガイドボランティア・スタッフによる案内・解説を受け、人間の尊厳と平等について理解を深めることができました。議会議員としてだけでなく、人として大切なことを改めて学ぶことができた有意義な研修となりました。

（議会運営委員会委員長 馬本隆夫）



議会の動き

議会運営委員会

※ 令和4年平群町議会第7回定例会の議会運営について

11月24日

全員協議会

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

（電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金）

※ 平群町第6次総合計画の進捗状況について

10月17日

※ 奈良県広域水道企業団基本計画（案）及び基本協定書（案）について

※ 林地開発許可変更申請書について

※ 議会の個人情報の保護に関する条例（案）について

12月15日

議員提出議案

森田勝議員に議員辞職を勧告する決議（案）

提出者 山口 昌亮

賛成者 稲月 敏子

// 植田 いずみ （否決）

高齢者と家族が安心できる介護の実現を求める意見書（案）

提出者 岩崎 真滋

賛成者 長良 俊一 （原案可決）

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書（案）

提出者 窪 和子

賛成者 岩崎 真滋 （原案可決）

第9期の介護保険制度改定に向け安心できる介護保険制度を求める意見書（案）

提出者 稲月 敏子

賛成者 植田 いずみ

// 山口 昌亮 （否決）

町政を問う! 一般質問一覧

稲月議員	1. 初香台内の通学路の安全性について 2. 高齢難聴者の補聴器購入費助成制度の導入を 3. 町管理の歩道、公園、土地の草刈り等について 4. 下垣内の土砂災害特別警戒指定地について
山口議員	1. 櫛原山林のメガソーラー開発について 2. 虚偽説明で廃止を決めたウォーターパークは存続を 3. デマンドタクシーの近大病院への乗り入れについて 4. スズメバチなどの駆除に補助を
植田議員	1. こども園待機児問題について 2. 期日前投票場所の問題について 3. 北小学校前バス停に屋根の設置を
長良議員	1. 魅力ある豊かな地域の未来を考える 2. 生き生きと暮らせる町、平群 3. 魅力ある平群町について 4. これからのまちづくりについて
山田議員	1. 通学路の速度制限規制等の安全確保について 2. 旧平群西小学校跡地利用について
岩崎議員	1. リサイクルステーションについて 2. 集会場にAEDを設置しては? 3. 町内のベンチを増やしては?
窪議員	1. 子どもの幸せを最優先する社会の構築に向けた本町の取組について 2. 空き地・空き家の樹木や雑草の対応について 3. 带状疱疹ワクチン接種の助成について 4. 町防災訓練の実施について 5. 町総合文化センター2階ラウンジ等の充実を
馬本議員	1. 町道西山麓線の生駒線計画を 2. 安全、安心な生活道路の確保を 3. デマンドタクシーについて 4. 地域住民の生活環境を守れ
森田議員	1. 櫛原のメガソーラー建設について 2. 国保税の滞納について
井戸議員	1. 自治会への補助金アップを 2. デマンドタクシー、地味

同意



大塚 昭治 氏

住所:平群町鳴川

大塚昭治氏を公平委員会委員に
任命することに全会一致で同意しま
した。

公平委員会委員



城垣 圭一郎 氏

住所:平群町椿井

城垣圭一郎氏を教育委員会委員に
任命することに全会一致で同意し
ました。

教育委員会委員



監査委員に
山田仁樹議員

議会選出の監査委員として、
山田仁樹議員の選任に全会
一致で同意しました。



10月臨時会



12月定例会

下垣内の土砂災害特別警戒指定地について



稲月 敏子



質問

急傾斜地・土砂災害特別警戒地域として指定された下垣内357番地の裏山急傾斜地には常に水が湧き出し、中腹は苔がびっしり茂り水滴が雨のように落ち、それが住宅裏に近づく小川状態になっている。この水は泥も一緒に流れ溝に堆積し、除去にあたって住民は高齢化するなかで負担となっている。法面には深さ2m近くの空洞ができていて、蛇籠（じゃかご）を詰めた鉄線で編んだ籠を重ねて補強しているが、これ自体が傾き、鉄線が切れ、中の石が落下し、崩れる寸前の状況。これまでも住民は危険性を町に訴えてきたが、民地であることが

答弁

ら何もできないと放置されてきた。危険が目前に迫り、緊急性がある。いち早い専門家の調査と適切な対応を求める。

当該地は、土砂災害特別警戒区域に指定されている。民地ではあるが、

県の関係部署に、現地の危険性の状況を説明の上、対策や補助メニューの相談をし、住民の生命・財産に危険性を及ぼすようであれば、防災対策の検討をして参りたい。



櫟原山林のメガソーラー

開発について



山口 昌亮



質問

①計画地の防災工事は、どのような工事がいつまでに行われるのか。
②下流河川・水路の流下能力について、町の資料はピーク時の流量が流下能力を超えるのは測点33力所で3力所だけとしているが、集水面積の単位がhaで計算している。正しく計算すれば20力所以上が流量が流下能力を超える。この結果、改修すべき箇所が大幅に増えるのではないか。



③町管理の下流河川・水路の安全性について町としても住民説明会を開催すべきだ。

答弁

①仮設防災調整池は「30年確立」の降雨に耐えられるもの。今月中に堰堤などの土工事は概ね完成と聞いている。

②資料が間違いかどうかチェックする（次の日に計算間違いを認めて資料修正）21力所で流量が流下能力を超える。ピーク流量が流下能力を超えたとしても、開発地の調整池の容量で調整するので、すべての地点を改修する必要はない。

③住民説明会は事業者の責任において実施すべきもの。事業者には水路の改修方法も併せて地域住民に丁寧に説明するよう指導する。

北小学校前バス停に 屋根の設置を



植田 いずみ



質問

以前にも質問していましたが、北小学校のバス通学の登録者数は現在60名と聞いています。雨の日など傘を差した状態でのバスの乗り降りには時間がかかることや、歩道いつぱいに広がる事で他の歩行者の通行の妨げや、怪我につながる事故を避ける意味でも出来るだけ早く、多くの児童が利用している北小学校前のバス停にぜひ屋根を設置すべきと考えますが、いかがお考えでしょうか。



答弁

昨年6月にもご質問いただき、現状等を把握しながら、関係機関とも協議を行なつて参りました。北小学校児童の安全と、公共交通の利便性を高める観点から、一定の必要性について認識しておりますので、前向きに検討して参りたいと考えています。

生き生きと 暮らせる町、平群



長良 俊一



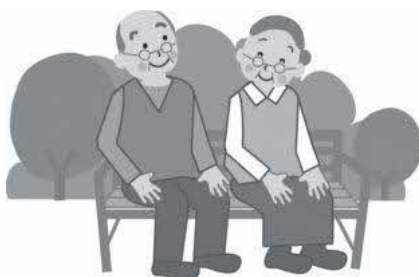
質問

他の市町村と比較しても高齢化率が高く、高齢者の一人暮らしが問題になりつつあると感じます。民生児童委員さんの見守りや献身的な協力のおかげで地域に温かさをもちあわしていることは、ありがたい限りです。生活環境や福祉支援の充実は、欠かせないと考えます。ご本人が不自由な問題をかえ、相談をされた場合、スムーズに問題を解決す

答弁

高年齢者や家族の方、また、民生児童委員などから相談があつた場合、関係課や関係機関に連絡を行い、情報を共有し問題の把握を行つております。

取り組みとして、地域の民生児童委員や地域支援合い推進員による「安心見守り事業」や「緊急通報サービス事業」などの案内を行っています。



また、外出支援の相談があつた場合は、「デマンド型乗合タクシー」の案内など、様々な高齢福祉サービスの案内や支援を行つていきます。

引き続き、住み慣れた地域で安心して「いきいきと暮らしていただけるよう」努めていきたいと考えております。

通学路の速度制限規制等の安全確保について



山田 仁樹



質問

北小学校区の通学路では横断歩道の白線が消えている箇所や自動車が進んで走行する信号機のない道路の横断が必要で大変危険との事。

状況を確認すると町道等の横断歩道や予告表示のひし形マークの白線が一部消えている部分がある。制限速度は若葉台の幹線道路は40km/h、福貴地区の中央公民館跡地から中学校までは30km/hとなつてはいるが、緑ヶ丘の中央メイン道路は速度制限看板がないことから60km/h制限との事。

通学の安全はボランティアの方々による見守り等でサポートされているが、標識や横断歩道等の白線、啓発等も重要。



答弁

①横断歩道や予告表示白線の一部が消えている箇所もある。明示責任は何れの所管なのか?
②緑ヶ丘のメイン道路は例えば30km/h制限等低速度規制の上、標識等の設置はできないのか?

①横断歩道やその先の横断歩道を示すダイヤモンド、速度規制等の規制や指示を示す標識の管理責任は公安委員会。
②所管の西和警察によると『要望頂き検討するに地元自治会の総意が必要』との事。

リサイクルステーションについて



岩崎 真滋



質問

現在、町行政のゴミ減量化に向けた取組みの一つとして、常時開放された有価物回収拠点リサイクルステーションの設置場所を増やす取り組みをされています。

新聞、ダンボール、雑誌、本、紙パック、雑がみの回収拠点として役場本庁東駐車場をはじめ、新たに設置された北部リサイクルステーションと今後設置予定の南部リサイクル

答弁

テーションについて管理運営体制と有価物の防犯対策について、お聞かせください。

管理運営体制については、業務委託している回収業者と町の職員がそれぞれ連携を取りあつて、日常の集積状況を確認しながら、コンテナからあふれるなどの利用者及び周辺住民へ迷惑のかからないように管理運営を行つてお



ります。
防犯対策につきましては、日常のパトロールに加え、夜間における防犯灯の設置や24時間防犯カメラでの監視を行っております。

南部リサイクルステーションについては、南部地域を中心とした住民への利便性が良くなり、紙資源の再利用とごみ減量化へつながると考えております。

子どもの幸せを最優先する 取り組みについて



窪 和子



質問

①合計特殊出生率と人口減少への認識について
②妊娠期からの伴走型相談支援と妊娠・出産時に計10万円相当を給付する経済的支援を一体的に行う国の「出産・子育て応援交付金事業」について
③9月議会においても一般質問した「子ども医療費助成の窓口無料化の年齢拡充」の進捗について
④学校給食費の無償化と、来年度も物価高騰に



答弁

よる給食費の値上げを保護者に求めないことについて

①出生率1・15人で、近隣市町で最も低く、若い世代の結婚や出産・子育て等の施策がさらに重要と考えている。
②子育て包括支援センターで様々な相談支援を実施しているが、さらに妊娠8か月面談の導入を行う。また経済的支援は「妊娠届時」と「出生届後の新生児訪問時」に申請して頂き、各5万円の現金給付を行い妊婦検診時の交通費やベビー用品の購入等に活用頂きたい。対象は令和4年4月に遡る。
③令和6年8月診療分から県下二斉に窓口無料化の年齢拡充を進め、高3生まで検討している。
④無償化は有効な施策と考えるが検討課題とした。また来年度も値上げをしないよう努力したい。

デマンドタクシーについて



馬本 隆夫



質問

多くの高齢者が登録をして頂き、利用増につながる事を願って質問をしております。

①11月末日までの登録者数累計、予約者数累計は。
②現在の利用対象者は65歳以上で要支援、要介護認定者など、4条件のいずれかに該当される方しか利用できません。約7100人の高齢者全員が介護保険料を負担しているに

もかわらず、利用対象者に条件を設けることは、公平性に欠けます。介護保険制度は相互扶助の精神（互助）を基本としていますので、条件を撤廃し、平群町内在住の65歳以上（約7100人）が利用できるようにすべきであると思います。この提案については地域公共交通会議での議論には該当しないと思います。

答弁

①令和4年11月30日現在、登録者数は、1321人で、予約者数累計は7110人となっています。
②デマンド事業は、介護保険料を利用した介護事業でありますので、介護保険料を負担している方については、公平性の観点から全ての高齢者に利用できるように考えて参りたい。



櫛原のメガソーラー 建設について



森田 勝



質問

この度の町長選の争点のつに、メガソーラー建設がなっていた事が私には不思議に思えてならない。住民の一部の方は、町はメガソーラー建設を中止できると思っている事である。法治国家の日本で、法律や技術要件を満たしていれば、許認可権者は許可を下ろさなければ訴えられる。

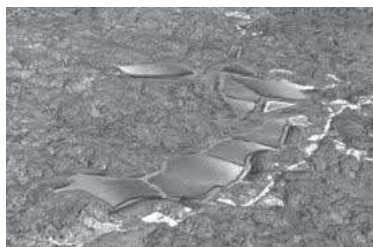
私は誰が町長になつても中止できないと思つている。ただ単に、ダメだ、反対と言つても何の解決策も見い出せないのでは、そこで

①変更申請の進捗状況は
②許認可権者は③当初許可の問題点・設計者の確認
④熱海の土砂災害と同様の被害想定は(熱海は建

答弁

設残土による不法盛土。町内の許可案件での被害状況⑤はげ山のまま残る可能性は

①事業者から9月1日付で県に提出され、来週中(12月14日時点)に県森林審議会で審議される予定
②奈良県知事③下流域の流下能力。設計は事業者から委託された村本建設(株)④県許可3件は、被害は出ていないが、町盛土許可9件の内1件が隣地・町道への土砂流失被害があつた。⑤仮定の話であるが、県と連携して事業者に防災面で必要な指導を行う。



自治会への補助金アップを



井戸 太郎



質問

協働のまちを創る上で、一番近い組織として自治会がある。今、この自治会への住民の方々の加入について問題となつている。自治会加入のメリットは充分にありながらも、デメリットも多い。

デメリットの主なものは、公園等の管理費用負担、防犯灯の電気代の負担、役員の仕事、広報の配布など。

これに対し、町の補助金だと実質単年度で赤字。

公園の管理で言うならば「草刈りボランティアがいる」との町の思い込みと「実際はいない地域もある」現実とに乖離があるのではないか。自治会の出費に見合った補助金を出すべきだと思つがいかが。

因みに、約300世帯の自治会を参考にすると、町の補助金は、自治会運営補助金約10万円、育成交付金約6万円、街灯補助金8万円、計24万円。

対して、自治会の支出は、公園草刈り約20万円、

答弁

自治会の補助金の在り方を含め調査研究してまいりたい。

公園水道代約3万円、広報配布委託料約20万円、街灯電気代約16万円、支出計約59万円。



町 の 話 題

町 消 防 団 長 に 聞 く !!



平群町消防団は現在、植田伊左男団長を含む68名の陣容で、365日24時間、平常時・非常時を問わず地域に密着し、自然災害や火災等から住民の安心と安全を守る重要な役割を果たして頂いております。

さかのぼること大正時代に地域の火災を契機に消防組がつくられ、昭和14年には平群村警防団を組織し、昭和22年8月1日には自治体消防の制度に伴い、「平群町消防団」が設置され、今に至ります。

団員の約8割は町内在住で、地元で仕事を持たれ、火災や大規模災害時には、自宅や職場から現場へいち早く駆けつけ、消火・救助・行方不明者等の捜索等の活動を行います。

一般建物火災の場合、団長と事務局に奈良県広域消防組合より携帯電話へ一報が入ります。そして、役場のサイレンを鳴らし、全団員を参集します。団長と事務局はいち早く現場へ駆けつけ、現場の状況や消火栓・消火器具等の格納庫の位置を確認し、団員がポンプ車で到着した際には指示を出し、西和消防とともに消火活動に徹します。令和4年度の出動件数は、火災による出動が5件ありました。

また毎年、年末には火災防止など暮らしを守る年末警戒パトロールを実施しています。

このようなお話を聞かせていただき、平群町消防団の方々の常日頃からの活動に、心より感謝申し上げます。また、12月29日・30日の午後8時から10時まで、師走の大変寒い中、年末警戒を実施して頂き、本当にありがとうございました。

窪 記



稲月 記

今年は卯年、うさぎのようにジャンプの年になるように祈るばかりです。

一方、この冬の寒さは厳しそつ。光熱費の高騰は大変こたえます。ハウスカットの燃料も大変です。寒さに震え、食べることがままならない人をつくらない、平和で、笑顔で暮らせるように頑張るのが政治の仕事。住民のみなさんの声を代弁し議会で頑張るのが地方議員、責任の重さをさらに感じる12月議会でした。

12月議会では光熱費や原料費の大幅な高騰で本庁舎内や各施設の電気料金、子ども園と小中学校の給食材料費で補正予算が計上され、可決しました。私にとって初めての事態でした。もちろん、光熱費、物価の高騰は住民生活を著しく苦しめています。

編集後記

北葛城郡・生駒郡議長会合同議員研修会

【日時】 令和4年10月12日

【場所】 河合町文化会館

(まほろばホール)

【講演】 ニュースの裏側から

「キーワード」で読むこれからの政治・経済

【講師】 高岡達之氏 (読売テレビ放送報道局解説委員長)

北葛城郡・生駒郡議員研修会



県町村議会議長会 全議員研修会

【日時】 令和5年1月12日

【場所】 いかるがホール

【講演】 「弁護士目線で見ると最近の時事・くらしの問題」

【講師】 山岸久朗氏 (弁護士)

北葛城郡・生駒郡議員研修会

